

< 委員 >

中山 就介	(塩田町町内会 会長)
片岡真由美	(江ノ口東地区主任児童委員)
日浦 利恵	(日高特別支援学校 高知しんほんまち分校 P T A役員)
井上 明子	(日高特別支援学校 高知しんほんまち分校 P T A役員)
片岡 拓也	(サンガリア商事株式会社 専務取締役)
澁谷 文香	(就労サポートセンターかみまち 所長)
横畑 健	(こうち若者サポートステーション 所長)
小笠原由香	(高知市社会福祉協議会地域協働課 地域コーディネーター)
宮地 暁男	(スクールソーシャルワーカー)
利岡 徳重	(日高特別支援学校長)

令和4年度 第1回学校運営協議会 記録

- 1 開催日時 令和4年7月8日(金) 15:30~17:00
- 2 場 所 高知しんほんまち分校 多目的室
- 3 開 会 校長挨拶、委員紹介(自己紹介)
- 4 議 事 (1) 学校運営協議会設置要綱について
(2) 会長及び副会長の選出について
(3) 令和4年度学校経営計画等について
(4) 意見交換
(5) その他

5 議事概要

- (1) 学校運営協議会設置要綱について

本校の学校運営協議会設置要綱について、資料に基づき概要説明。

(2) 会長及び副会長の選出について（以下のとおり承認）

会 長：宮地 暁男

副会長：利岡 徳重

(3) 令和4年度学校経営計画等について

ア 生徒数、教職員数について

イ 目指す学校像、生徒像について

ウ 学校経営計画（重点取組5項目）について

○就労による自立を目指す生徒の育成に必要な資質の向上

○職業生活に必要な力の育成

○防災・防犯教育の充実

○地域貢献の推進

○働き方改革

(4) 意見交換

・高知しんほんまち分校の対象となる生徒、校区、通学状況について質問

〈回答〉知的障害のある生徒を対象としている。中学部は定員6名、校区は高知市。

障害の程度については、学校教育法に基づき、インクルーシブ教育の推進を念頭に置いたうえで、地域の中学校と本校のどちらがお子さんにとって良いのか、高知市教育研究所が保護者から相談を受けて検討する。高等部は定員16名、校区は高知市、南国市、香美市、香南市。入学選考検査を受けて合否決定される。本校には寄宿舍は設置しておらず、全員が自転車や徒歩、公共交通機関、スクールバスを利用して通学している。

・新設校であり、学校文化を築き上げている途上の学校である。学校として醸成されるまでには数年かかるであろう。外部企業等と連携し、力を借りながら成長できるように応援している。

・外部との連携は欠かせない。デュアルシステムの運用や生徒の成長を楽しみにしている。

〈回答〉デュアルシステムの運用は、今年度の1学期段階では難しい部分があるが、2学期からは、体験できる生徒から順番に外部に出て実習する予定である。

- ・企業として、特別支援学校の職場実習を受け入れるまでは不安があったが、実際に実習や職場見学を受け入れてみると不安のハードルは下がり、企業にとっても得るものがあった。生徒のことをよく知り、協力していきたいと考えている。今後の進路先の確保などはどのように進めていくのか。

〈回答〉数校を兼務している就職アドバイザーを中心に開拓している。校内では授業の中で生徒の力を伸ばし、アピールポイントをみつけ、企業との相性など考慮して進めていく。

- ・この学校を選んだ理由について委員から保護者に質問
- ・就職を考えたとき、職業教育に力を入れているこの学校を選んだ。また、入学後に友達関係を築いたり、自分の楽しみをみつけたりして高校生活を充実させてほしいという願いがある。
- ・特別支援学校の生徒は、高校3年間で進路決定を迫られることが多いが、余裕をもって考えていける選択肢があってもよいのではないか。高校生活の楽しみでもある部活動の状況はどうか。卒業後、就労移行支援を利用することも視野にいれているのか。

〈回答〉卒業後は就労移行支援を利用する場合が出てくると考えている。生徒に応じた進路決定をしていく。部活動は、軽音楽部、バドミントン部、卓球部があり、入部生徒数は少ないがそれぞれ活発に運動している。軽音楽部は専門家の支援を受けて活動している。

学校経営計画について、説明のとおり承認された。

(5) その他

社会福祉協議会より、「ほおっちょけん相談窓口（江ノ口西）」等の紹介があった。

- 6 閉 会
- ・第2回開催予定日確認。令和5年2月20日（月）15：30～
 - ・校長謝辞